

# きんもくせい

病院だより

vol.107

令和4年  
4月号

## 不整脈の自覚症状がなくても要注意! 脳梗塞を防ぐためにもカテーテルアブレーションで治療を



▲カテーテルアブレーションをする循環器内科森川医師(右奥)、大鐘医師(左手前)

胸がドキドキする、息苦しい…。そんな症状を自覚しなくても実は「心房細動」だったという方がいます。

不整脈の一つである心房細動の患者数は、検診で診断される患者数だけでも約80万人と推計されており、実際には100万人を超えるものと思われます。高齢者に多く、今後人口の高齢化に伴ってさらに心房細動の患者数は増加することが予想されています。まずは、心房細動の問題点や症状、それによって引き起こされる脳梗塞の危険性を広く知ることが大切です。心房細動からの脳梗塞を予防するために、当院の循環器内科は患者さまのために全力で最良の医療を提供しています。

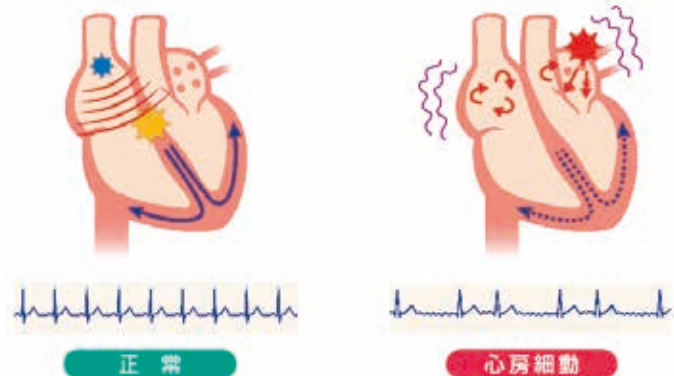
前月号では、心房細動が原因で起こる脳梗塞「心原性脳塞栓症」について紹介しましたが、今月号では、心原性脳塞栓症の原因となる「心房細動」を治療するためにはどうすれば良いか、循環器内科の森川医師が詳しく解説しますので、ぜひ読んでみましょう。

# 心房細動が原因で脳梗塞に！ カテーテルアブレーションによる根治治療を！

循環器内科統括診療部長 <sup>もりかわ しゅうじ</sup> 森川 修司 医師

## 心房細動とは

不整脈の一つで、心臓内にある「心房」が異常な動き、不規則かつ細かく震えるような動きになります。さらに血液を全身に送り出す「心室」も不規則なリズムとなり、心臓本来の働きができなくなる病気です。



## 心房細動の原因

加齢が大きな原因ではありますが、若年者でも認められます。高血圧、糖尿病、慢性腎臓病、睡眠時無呼吸症候群、甲状腺機能異常などの疾患がある場合には起こりやすくなります。その他、肥満、飲酒過多、喫煙なども原因となります。



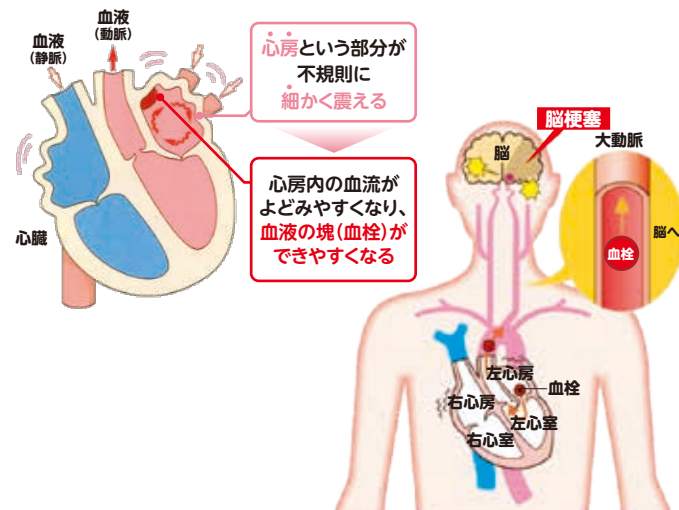
## 心房細動の問題点

心房細動は動悸などの自覚症状で困るだけでなく、脳梗塞や心不全を引き起こし、生命を脅かす危険性のある不整脈です。また腎機能や認知症の悪化のほか、生活の質の低下が生じることも分かっています。大切なことは発症を予防すること、早期に診断すること、適切に治療を行うこと、この3点です。

## 脳梗塞の原因の約3割を占める

心房の不規則な動きにより血液がよどむと、血栓が形成されやすい状態となります。血栓が血流に乗って飛ぶと、全身の臓器を栄養する血管を詰まらせてしま

います。脳の血管が詰まると脳梗塞の一つである心原性脳塞栓症を発症します。脳梗塞の原因の約3割が心原性でその主要因が心房細動です。



## 診断～症状がなくても要注意、自己検脈を～

症状がある場合は心電図で発見されますが、心房細動の約40%は自覚症状がないとも言われ、脳梗塞や心不全が起きてから初めて発見されることも珍しくありません。普段から自分で手首の動脈を触れて脈の乱れがないかチェックする「自己検脈」の習慣をつけておくことが大切です。

## 治療～カテーテルアブレーション～

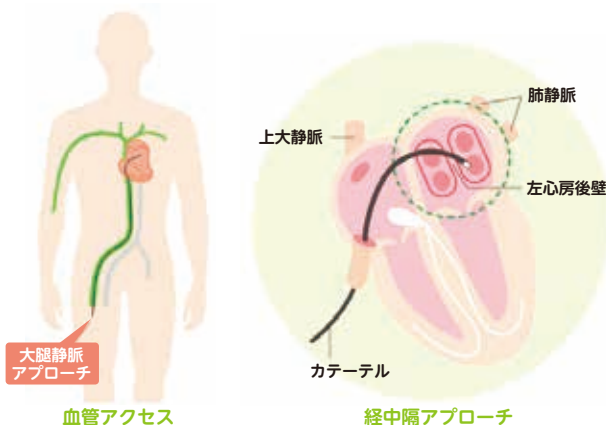
心房細動の治療には、薬物療法のほか、根治手術としてカテーテルアブレーションがあります。無症状の人も多い心房細動ですが、その後に起こりうる脳梗塞、心不全、腎不全、認知症が、カテーテルアブレーションをすることで、軽減できるという非常に大きな利点があります。カテーテルアブレーションは心房細動の原因となりうる異常な電気信号の発生源をカテーテルで焼灼（しょうしやく）するという治療方法です。当院では1回の治療で約80%の患者さまがアブレーション後、再発を認めていません。

心房細動のある患者さまは予後が悪いことが知られていますが、心房細動をアブレーションで治療した患者さまは一般の患者さまと予後が変わらないということも分かっています。心房細動は発作性から持続性に移行しますが、発作性のうちにアブレーションを行った方が再発率も低く完治しやすいため、年齢や仕事、生活状況などを各々考え、相談の上必要であれば早期にアブレーションをすることをおすすめします。



当院では現在5名の術者により年間約200件のカテーテルアブレーションを施行しています。動悸など気になる症状のある方、自己検脈で脈の乱れを確認した方、健康診断等で不整脈を指摘された方など、当院循環器内科ではどんな患者さまでも24時間365日必ずいつでも診させていただきます。その患者さま各々にとって最もよい治療方法を提供しますので、ぜひご相談ください。

肺静脈で発生した心房細動を▶  
カテーテルアブレーションで治療する流れ



## 野球障害を避け！当院の理学療法士が講師に

掛川市スポーツ協会からの依頼を受け、当院の理学療法士が「掛川市少年野球トレーニングセミナー」の講師を担当しました。

当日は掛川市内の学童軟式野球チームの選手、指導者、保護者約250名が掛川球場に集まりました。ストレッチ＆コンディショニングコーチのトレーニング指導の後、当院の理学療法士が野球障害を予防するためのエクササイズを上肢、下肢、体幹の3つのパートに分けて指導しました。学童期の野球障害を予防することは、中学や高校などそれ以降の CATEGORY で野球を続けていく上でとても重要になります。

当院の理学療法士は、高校野球の現場でトレーナーとして活動している者も多くおり、静岡県高野連のメディカルサポート活動にも積極的に参加し中心的な役割を担っています。たくさんあるスポーツの中から野球を選んだ子どもたちが心身ともに万全な状態で野球を続けられるように、今後もサポートしてまいります。



▲ 指導をしている様子

## 看護部通信

### 新人看護師奮闘記～寄り添う看護を目指して～

私の勤務する病棟は、主に外科の患者さまが多く入院され、毎日慌ただしい日々を送っています。学生時代の実習では、手術前後の患者さまを受け持ち、入退院の多い中でも患者さまの立場に立って物事を考え、サポートすることの大切さを学びました。また、回復していく中で見られる患者さまの笑顔に喜びを感じました。忙しい中でも一人一人の患者さまとの時間を大切にしたい先輩看護師がいつしか私の目標になりました。

実際に看護をしてみると分からないことやできないことが多くあり、不安や焦りと同時に、責任の重さを実感しました。そのようなとき、悩んでいる私に先輩看護師が「患者さまのために何をしたいのか」を考えてみるようアドバイスをしてくれました。そこで患者さまの立場に立ち考えることを心掛け、実際の患者さまの状態から望んでいることを読み取り、患者さまの不安な気持ちを少しでも取り除けるようにとコミュニケーションの時間を大切にしていきました。そのような中で患者さまから「ありがとう」「あなたが来てくれると安心する」「失敗してもいいから何でも経験だよ」などの言葉をかけていただくことが増え、看護師として働くことへのやりがいに繋がっています。



私の元気の源は患者さまの笑顔です。今後も何事にも感謝の気持ちを忘れず、一人一人の患者さまが望む生活をサポートできる看護師を目指していきたいです。

5階東病棟 中村 桃子

## 医療市民講座WEB特別編「がん講習会」を配信中

**配信期間** 2022年3月18日（金）午前10時～2022年4月28日（木）午後9時

**演題**

- ①「がん治療の3本柱 がん治療を支える放射線治療とは」  
腫瘍放射線科診療部長 一戸 建志 医師
- ②「消化器がんに対する放射線治療について」  
企業長 兼 院長(外科) 宮地 正彦 医師
- ③「がん相談支援センターのご紹介」  
副看護部長 兼 がん相談支援センター長  
中川 穂波 看護師

参加費無料

申込み不要

**問い合わせ**

経営戦略室  
電話：0537-21-5555(代)  
FAX：0537-28-8971(代)



## 第36回医療市民講座～がん講習会～のご案内 「がんと闘う 住みなれたこの場所で」

新型コロナウイルスの影響で開催延期となった2022年2月26日の医療市民講座を以下のとおり、開催いたします。  
皆さまの健康と安全を第一に考え、感染防止策を講じます。

**日時**

2022年5月28日（土）  
午前10時～正午（受付9時30分～）

**場所**

袋井市月見の里学遊館うさぎホール  
（袋井市上山梨4-3-7）

**申込み**

4月18日（月）から5月27日（金）までに申込み。ホームページ専用フォーム、または問い合わせ先へ電話、FAXのいずれかにて。

**問い合わせ**

経営戦略室  
電話：0537-21-5555（代）  
FAX：0537-28-8971（代）

入場料無料

定員180名（予約制・先約順）

**演題**

- ①「最近増えてます！大腸がんと膵臓がん」  
医務局長 兼 外科診療部長 京兼 隆典 医師
- ②「がんと共に生きる～緩和ケア外来～」  
副医務局長 兼 麻酔科診療部長 内山 智浩 医師
- ③「がん相談支援センターのご紹介」  
副看護部長 兼 がん相談支援センター長 中川 穂波 看護師

◆詳細は当院ホームページをご覧ください。



## ● 医師異動のお知らせ ●

2月28日付 退職

循環器内科 くればやし のぶたけ  
紅林 伸丈

今までありがとうございました



## 2月の 診療実績

1日あたりの患者数		
	入院	360人
	外来	1,158人
紹介	率	73.2%
逆紹介	率	89.4%
病床利用	率	72.1%
平均在院	日数	8.5日
手術	件数	416件
救命救急センター受診	者数	1,113人
救急搬送	件数	492件

※1月の紹介率は72.9%、逆紹介は93.3%です

病院だより「きんもくせい」は、中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配布しております。

ホームページ <https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

過去の病院だよりをホームページでご覧いただけます。 [中東遠](#) [Q検索](#)

スマートフォン・タブレットからアクセスする際にはQRコードをご利用ください



〒436-8555  
掛川市菖蒲ヶ池1番地の1

TEL 0537-21-5555

